

担当医等の意見

本剤以外に関連が疑われる要因：脱水、高熱既往歴及び特記すべき体質等：不明医薬品副作用歴：無担当医の意見：若い女性であり、迷走神経反射により血圧が急激に低下した可能性もあると思われ、患者の体質等が不明なため断定は出来ない。アレルギー反応の可能性もある。

報告企業等の意見

現時点における一般薬理試験では、本剤は薬理作用として血圧に影響を与えないことが示されており、担当医の意見の如く、患者はインフルエンザによる発熱、脱水症状が認められ、身体の状態はかなり低下した状態で、迷走神経反射により血圧が急激に低下した可能性が高いと考えます。

今後の対応

今後とも安全性情報の収集・伝達に努力し、同様の事象の発現状況をみて対処する所存です。

送信者による診断名/症候群及び/又は副作用/有害事象の再分類

第一次情報源により報告された副作用/有害事象

意識喪失

累積報告件数・使用上の注意記載状況等

1. 使用上の注意の記載状況

リレンザ (国内) 記載なし 【参考】 重大な副作用：アナフィラキシーショック 海外において、市販後に発疹、蕁麻疹、顔面浮腫、口腔咽頭浮腫等のアレルギー反応、気管支痙攣、呼吸困難が報告された。

(PDR) 失神 (Data Sheet) 記載なし

2. 累積報告件数 (国内) 1件 (今回の報告を含む) 意識喪失 (外国) 3件 (意識喪失2件、追加報告致します) 3. 患者背景について情報を入手したので追加報告致します。

引用文献

資料一覧